

科目名	障害児保育					開講 キャンパス	神 園
担当者	田 中 麻 里						
開講年次	2	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	本授業では、「障害児保育」の理念と歴史の変遷を解説し、保育現場において子どもが「共に育つ」意味と、様々な障害のある子ども及びその保育内容について詳説する。また、障害のある子どもの保育にかかわる保健・医療・福祉・教育等の現状と課題について説明し、事例を通して、障害児保育の実践方法の習得をめざす。						
授 業 の 到達目標	1) 障害の概念と障害児保育の理念について説明することができる。 2) 障害児保育の歴史の変遷について説明することができる。 3) 子どもの発達と障害理解の基本的視点と方法を述べるすることができる。 4) 障害の種類と、その原因、症状、行動特徴、発達支援の留意点を述べるすることができる。 5) 障害児保育のポイントを整理して説明できる。 6) 障害のある子どもの保育指導計画、個別支援計画の内容を理解し、作成することができる。 7) 障害のある子どもの家族支援の要点を述べることをできる。 8) 地域の支援活動について述べるすることができる。 9) 事例より、障害児保育の実際を保育者としての目的意識を持って、主体的に捉えることができる。 10) 事例より、障害児保育の実践内容について、自分の意見を述べるすることができる。 11) 障害児保育の課題と展望を述べるすることができる。						
学習方法	講義、VTR・DVD 視聴						
テキスト及び参考書等	テキスト：障害のある子どもの保育実践 水田和江、増田貴人編 学文社						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎	○		○		50	
小テスト等	◎		○	○		40	
宿題・授業外レポート							
授業態度			○			5	
受講者の発表							
授業への参加度			○			5	
その他							
合 計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	障害児保育とは（障害の概念、障害児保育の理念、子どもの発達権）＊レポート作成						
第 2 週	障害児保育の歴史の変遷（保育施策の動向、早期発見・早期療育のための施策、ノーマライゼーション）						
第 3 週	子どもの発達と障害理解（基本的視点）						
第 4 週	障害児を理解するための方法（情報収集、親との会話、発達状況、発達検査、行動観察、総合理解）						
第 5 週	障害の特性と発達支援①（知的障害）						
第 6 週	障害の特性と発達支援②（ダウン症）＊VTR 視聴→レポート作成						
第 7 週	障害の特性と発達支援③（視覚障害、聴覚障害、言語障害）						
第 8 週	障害の特性と発達支援④（運動障害、身体障害、脳性まひ）						
第 9 週	障害の特性と発達支援⑤（発達障害① PDD-広汎性発達障害、自閉症、アスペルガー症候群 等）＊DVD 視聴→レポート作成						
第 10 週	障害の特性と発達支援⑥（発達障害② ADHD—注意欠陥多動性障害、LD—学習障害 等）						
第 11 週	障害の特性と発達支援⑦（気になる子ども）						
第 12 週	障害児保育の実際（親との協力、子ども同士の関わり、生活と遊びの環境、職員間の協働、関係機関との連携）						
第 13 週	障害のある子どもの保育指導計画（保育課程、記録と評価、個別支援計画、児童保育要録）＊指導計画の作成						
第 14 週	障害のある子どもの家族支援（親としての気づき、障害児に応じた家族支援、きょうだい、専門機関との連携）						
第 15 週	地域支援活動（社会資源の活用、放課後の生活、小学校・特別支援学校との連携）						
第 16 週	まとめ 障害児保育の課題と展望（保健、医療、福祉、教育）＊レポート作成 試験						
備 考	※本科目は、保育士資格取得のための必修科目である。						